

有名論文 うのみは危険？

精神医学分野 京大院生が調査

薬剤など 治療効果の信用度37%

が推奨する薬剤などの治療効果の信用度は約37%にとどまる、とする調査結果を、京都大医学研究科の大学院生で精神科医師の田近重蘭さんがまとめた。現場の医師に論文の結果をうのみにしないうよう警鐘を鳴らす内容で、英精神医学誌でこのほど発表した。

医学分野の論文は高頻度に引用されているが信用性は必ずしも高くないとする海外の調査結果がある。特に精神医学分野では、死亡や心筋梗塞の発症といった客観的な評価指標を用いることが難しく、論文の信頼性に疑問ももたれていた。

田近さんは、2000〜02年に「ニューイングランドジャーナル」や「ランセット」など医学・精神医学の分野で著名な雑誌8誌に掲載され、出版後3年間で30回以上引用された論文計約2600本から、精神科の治療法を内容とし、後に同じテーマでより緻密な研究デザインの新規論文がある43本を元論文として抽出。元論文を新規論文の内容と比較したところ、新規論文と同程度以上に治療法の効果が確認できたのは16本のみで、別の16本では効果が否定された。元論文の方が、効果を過大に評価する傾向が見られた。

例えば、元論文の一本では、患者20人に対する臨床試験の結果から統合失調症の治療薬である「オランザピン」が難治性うつ病に「大きな効果がある」としていたが、患者数288人の大規模の臨床試験を基にした新規論文では「効果なし」となっていた。

田近さんは「研究者や現場の医師は、有名論文であっても、惑わされずに批判的にチェックする必要がある。特に小規模の臨床試験で大きな効果を報告している論文には注意が必要だ」と話している。

(松尾浩道)

著名雑誌に掲載され引用の頻度も高く信頼性が高そうな論文であっても、精神医学の分野では、その論文

鳥インフル跡地

跡地は4・7畝と広く、山林や田畑に囲まれていて騒音も少ない。映画会社の撮影所がある京都市右京区太秦からも近いので、府の提案を受けて計画を進め

禅と精進料理 魅力探る

広島・京都文化フォーラム



「禅の心と精進料理」をテーマに開かれた広島・京都文化フォーラム2015(広島市中区・中国新聞社)

聞き入った。安永さんは「禅の世界は生きていく上での実践的な知恵を教えてください」とし、精進料理を「命をいたたいていることに思いを至らせる伝統だ」と説いた。中村さんは天龍寺での約2年間の禅修行を踏まえ、「謙虚さや集中力など、禅の精神を大切に料理と向き合っている」と強調した。

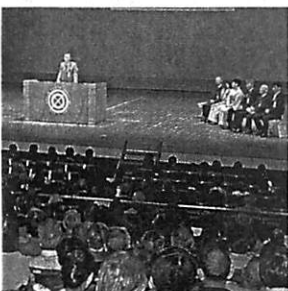
西本さんは文学研究者の視点から、枕草子などに登場する精進料理について、「飽食の貴族は仏道修行者を気の毒がっていたよいうだ」と解説した。討議に先立ち、中村さんが豆腐や大和芋などを使った京料理「けんちん揚げと野菜の炊き合わせ」を実演した。(詳細は後日掲載します)

武力解決脱却

「積極行動を」

綾部で15年ぶり

平和のために世界連邦が果たす役割を確認した大会綾部市京都府中丹文化会館



地球規模の民主約政府の

世界連邦日本大会

弊社取締役会 四十五分 ここに、申し上げ 追って通夜 一告別式 二場所 三場所 平成二十七年十一月十一日 母六人部 永眠いたしました 追って通夜 二告別式 二場所 三場所 平成二十七年十一月十一日 戸井田 稔 のり(俳優) 時46分、静脈 ぬめ東京都内の 歳。東京都出 式は3日正午 市国領町の